

大学のガバナンス改革のめざすもの －日・英・蘭3カ国比較－

ドナルド・ウェスターハイデン 氏

(オランダ トゥエンテ大学高等教育政策研究所・上級研究員)

講演概要 本セミナーでは、日本、イギリス、オランダの高等教育におけるガバナンスの構造と改革の特徴を、大学執行部と一般教職員の自己統治の関係に言及しつつ検討する。

国レベルで展開されるガバナンス改革の結果は、各機関のガバナンスとの関係で評価される。政府の改革は、管理が行き届き、かつ社会的ニーズに的確に反応できるように大学を導いたか、改革が予期せぬ結果をもたらさなかったか等である。

3国の大学ガバナンス改革は、NPM（新公共管理）やポスト NPM というように、それぞれ異なるパターンで展開されている。改革は、ある面では大学の自治は推進しているが、他面で制限している。大学の自治をめぐる変化によって、大学執行部と一般教職員の間でのシェア・ガバナンスにも影響を与えていることを示す。

2017年3月23日（木） 16:00－18:00

場 所：名古屋大学東山キャンパス 文系総合館 5F アクティブラーニングスタジオ

※このセミナーは英語で行います。日本語通訳はありません。

参加申込：下記ウェブサイトよりセミナー参加申込をお願いいたします。

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/seminarform.html>

○いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

○ご来場の際には、できる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。
構内駐車された場合の用務証明書発行はいたしかねますので、ご了承ください。

お問合せ先：info@cshe.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-789-5696